

回覧



2023 8月号

第18回
西会津国際芸術村
公募展
9/1
まで
申込受付中

開催中

土川博物館 米果南国展

7月15日(土)～9月3日(日)

開幕までの大プロジェクト

7月8日、台湾から学生を含む第1陣総勢13名が到着。翌日から早速、展示の設営がスタートしました。ホームセンターで大量の角材やコンパネの買い出しや深夜までの設営作業・展示のための打合せが連日続き、その合間にキッチンでは自分たちの食事を自炊して、学生さん達とはにかくタフで明るく前向きに作業を進め、たった7日間で展示を作り上げました。



つかの間の休憩で、町内のそば屋さんや鳥追観音へご案内。建築系の



学生が多く、お寺の建築を興味深そうに見ている様子が印象的でした。

オープニングレセプション トークイベント・交流会

迎えた会期初日には、オープニングレセプションが行われました。西会津町からは西会津町長・教育長・西会津小中学校長出席のもと、台南市の文化資産管理処・林喬彬処長とオンラインで結び、レセプション開催しました。
オープニングトークでは、これまでの交流をつないできた池田リリー



茜藍氏の通訳で、陳冠華氏(建築家)、劉仁達氏(参加アーティスト)の事例紹介が行われました。

陳氏からは、西会津と環境や人口規模の似通った池上市での取り組みを取り上げ、台湾のブランド米と田園風景、アートの取り組みが有名で人口が増えたという事例を紹介いただきました。劉氏からは、土川博物館の展示の源泉である「隆田Story 文化資産教育園区」についての説明がなされました。

また、台南市の小学生達が刊行した烏山頭ダム(※)の物語をまとめた絵本が西会津小学校6年生全員に贈られました。

※「烏山頭ダム」日本統治時代の台湾で日本人技師の指揮の下、建設されたダム。台湾の農業発展に大きな貢献をしたことで知られる。

トークイベント 「迷いつつ歩く 台湾散歩ロジィ」

「迷いつつ歩く」というキーワードを基調に展開されたトークイベント。散歩のように目的のない旅が人生においてはとても重要である。そういう中で出会った風土や精神性など、国や文化、地域を超えて共感したり違いを感じたりすること。陳冠華氏による、台東にある池上市での取り組みなど散歩ロジィを通して生まれてくる風土と詩についての話などの事例をもとにトークが展開されました。

台湾を「つくって」 「食べて」感じよう

7月16日・17日「まぼろしレストラン」では台湾マングーのかき氷やバナナケーキと台湾茶の提供が行われ、たくさんの方々から台湾の風土を感じながら、台湾スイーツを味わいました。ワークショップルームでは、台湾の果物をシルクスクリーンでプリントして



布バックをつくるワークショップが開催されました。

版画ワークショップ in 西会津中学校

7月18日台湾の果物をシルクスクリーンでプリントするワークショップを、西会津中学校にて全生徒を対象に開催しました。シルクスクリーンの先生をするのは、台湾の学生さん達。初めて外国人と英語で会話をしたと思われる生徒が「わー通じた。」と言っていたのがとても印象的でした。

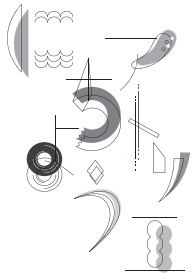


【アーティスト来日第2弾】

8月22日～31日
台北にて、台湾茶と雑草茶の活動をしているティファニーレイさんが滞在します。
8月26日～27日には、ティファニーさんを中心に台湾茶と雑草野草のワークショップを予定しています。



*イベントの詳細については、ホームページやSNS等で詳細を発信いたします。



今月のにちようアトリエは？

“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。



すつかり夏の日差しになりました。7月も、夏らしい内容でお届けしました。『フラワーアレンジメント』『かき氷づくり』『夏休みのカレンダー』『かき氷づくり』。もともと夏を意識した活動メニューでしたが、やはり感じるものがあるのか、子どもたちの表現自体にも夏の気配を感じました。元気に飛び出すようなペンの動き、涼しさを感じさせる配色。同じことを冬に行ったら、まったく違うものが出来上がっていたかもしれないね。頭で考えるよりも、肌で感じて形にする。

8月もその感覚を大事に、アトリエを開きたいと思います。

にちようアトリエ 8月予定表	
8/6	『スイカ丸ごとフルーツポンチ』 夏のアトリエキッチン！冷たくて楽しいおやつをみんなで作って食べましょう♪エプロンがある人は持って来てね！
8/13	『リズムののってトントン染め』 芸術村の周りで集めた葉っぱを叩いて白い布に染めるよ！葉っぱの形はさまざま楽しい。さて、どんな色に染まるかな？？？
8/20	『リズムののってトントン染め』 2週連続叩き染め！この回はキーホルダーが出来上がる予定だよ。お楽しみに！
8/27	おやすみ 夏休みはいつまで？アトリエも夏休みをいただきますね
アトリエは…毎週日曜日 13:30 ~ 16:00(時間内の出入り自由)、参加費無料、予約不要です！	

スタッフおすすめ 今月の本



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

よくわかる土中環境

イラスト&写真でやさしく解説

著：高田宏臣

芸術村スタッフオススメの本をご紹介します。今回は清野が担当します。水は雨として山に降り注ぎ、川から海へと流れまた雲になり雨になって…と大きな循環体系をつくっています。近年、頻発している水害や土砂災害などは、その水の通り道である土中環境の悪化が大きな原因の一つと言われています。

本書では、イラストや写真で実際の現場やしくみを分かりやすく解説。また、家庭ですぐにはじめられる土中環境を変えるアクションなども書かれています。自分にもできることが見つかります。身近な自然観察のテキストにもオススメです。



季節の変わり目と言われる『土用』。土用というのは、それぞれの季節の立つ前の18日間のことをいいます。土用丑の日が有名ですが、あれは夏の土用の丑の日のこと。実は各季節ごとに土用があるんです。その季節らしさが目いっぱい出るので、夏の土用がジリジリに暑くなりやすいとか。この時季は梅干しの土用干しをしています。梅干しは三日三晩干すといわれ、夜露にあてることも大切です。昼間に陽差して乾燥した梅干しが夜露でしっとりして、ふっくらと柔らかくなります。干しているザルから一つ、つまみ食いするのもこの時季の楽しみ。陽差しを浴びてあたたかくて、まだフレッシュな梅干しはお日様の味がします。



インスタ日誌

#写真撮影の舞台裏

毎年、夏は暑い木造校舎ですが、今年の暑さには参りました！展示室すべてエアコンを稼働させても、まったく涼しくなりません。せめてもの対策をと来館者にうちの貸し出しを行いました。



#猛暑 #うちわ

マワリテメクハ

季節の草木ノート

葛・クズ・(マメ科・多年草)

厄介者扱いされがちな葛ですが、昔から人の暮らしには身近な植物。根を使った「葛根湯」は風邪薬として有名ですし、葛粉は西会津でも葛湯や製菓材料として使われていますね。綿や麻が大陸から入ってくる前、古墳時代の記録には根から繊維をとりにだして織った葛布が衣服として使われていた記録が残っています。

「つかいかた」

葛の花は乾燥させると「葛花(かっか)」という生薬になります。乾燥させた花にお湯を注いでハーブティとして飲むことができます。



あの水戸黄門・光圀も愛飲していたとか！

SNS更新中！チェックしてみね！



【お問い合わせ】西会津国際芸術村
tel : 0241-47-3200
mail : niav.public@gmail.com
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752

【HP】



【LINE】



【instagram】



【Facebook】



【YouTube】



【Twitter】

